

『桑折町子どもヘルメット着用共同宣言』

わが桑折町は、「歴史と文化の町」であるとともに、「教育の町」であります。「桑折町総合計画」に盛り込まれている「桑折町教育振興基本計画（2022～2031）」にも、「桑折町の15歳のめざす姿」が明示されています。『人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子』という教育理念のもと、具体的な施策を計画・実践していくこととなります。今までも、桑折町の子どもたちは町民の皆様からの心温まる応援を受けながら、健やかに成長してきました。

ここ数年で、本町でも地震や台風による災害や新型コロナウイルスの感染拡大により、社会全体が大きな影響を受けています。多くの制限がある中でも、子どもたちは今できることに全力を注いでいます。その一方で、町内での自転車による事故が後を絶たず、状況によっては命を落としかねない事例もありました。そこで、「桑折町の宝」である子どもたちが、より安心・安全な生活を送るためにはどのようにすべきか桑折町 PTA 連絡協議会で協議しました。

その結果、桑折町の子どもたちが自転車に乗車する際のヘルメットの着用率を上げることが重要であるという結論に達しました。通学のために自転車を利用する中学生は、登下校時はヘルメットを着用していますが、それ以外の場面ではあまり着用していないという状況があります。小学校でも、高学年になるにしたがって、着用率が低くなる傾向にあります。交通事故総合分析センターのデータによると、ヘルメットを着用することによって死亡リスクは4分の1に抑えることができます。これらのことを踏まえ、「桑折プライド（町民の地域への愛着と誇り）」のもと、各家庭としっかり連携し、自転車乗車時にかぶるヘルメットの購入、適切な着用を推進していかねばなりません。

私たち桑折町 PTA 連絡協議会は、将来の桑折町を担う子ども一人一人の大きな可能性の実現のために、関係機関・団体と連携し、家庭・学校・地域が共に協働しながら、「子育てしやすい町」として評価を得ることができるよう、子どものヘルメット着用に係る活動を推進していくことをここに宣言いたします。

令和5年2月

桑折町 PTA 連絡協議会

<ヘルメット着用に向けたスローガン>

いつも **の**るなら **ち**ゃんとヘルメット